

## 会 議 録

会議の名称	令和6年度 第3回 所沢市いじめ問題対策委員会
開催日	令和6年 10月2日(水) 13時30分から15時00分
開催場所	所沢市立教育センター セミナーホール
出席者の氏名	武弓 清貴 木村 幸子 小中 淳子 高田 美智子 山崎 雄一郎 島 吉孝
欠席者の氏名	桂川 泰典 赤堀 侃司 小林 治 古山 智啓 末竹 眞智子
議 題	3 協議及び報告(一部非公開) (1) いじめ重大事態のガイドラインの改訂について【公開】 (2) 学校いじめ防止基本方針の実行度の調査、効果の検証について【公開】 (3) いじめ未然防止プログラムの進捗状況について【公開】 (4) 【非公開】 (5) 【非公開】
会議資料	・次第 ・資料1 いじめの重大事態の調査に関するガイドライン改訂の概要 ・資料1-2 いじめの重大事態の調査に関するガイドライン チェックリスト ・資料1-3 いじめの重大事態の調査に関するガイドライン ・資料2 学校いじめ防止基本方針に関するチェックリスト ・資料3 いじめ未然防止プログラム 保護者アンケート結果【概要】
担当部課名	教育委員会 教育長 中島 秀行 学校教育部 部長 中田 利明 次長 櫻井 誠 参事 吉川 誠 学校教育課 主幹 刈谷 和哉 指導主事 虫本 大介 指導主事 石田 優紀 指導主事 今井 知博 指導主事 宮岡 修平 指導主事 佐瀬 孝太郎 学校経営アドバイザー 田中 和貴 学校経営アドバイザー 川音 孝夫 学校経営アドバイザー 横須賀 邦子 生徒指導・いじめ問題対策員 伊勢 浩明 教育センター 担当参事兼所長 中村 啓 主幹兼副所長兼教育相談室長 高鍋 英彦 副主幹 和田 里恵 指導主事 岡田 香代

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	1 開会
教育長	2 教育長挨拶
議長 事務局 事務局	3 協議及び報告 ・議事録の確定方法は、委員長の承認により確定することを確認した。 ・傍聴人の希望が1名あり、議長の進行のもと諸手続きを行った。
事務局	【公開】 (1) いじめ重大事態の国のガイドラインの改訂について ・重大事態の発生件数が、令和4年度に過去最多となっていること、調査開始後に保護者とトラブルになることなどから、ガイドラインが改訂された。 ・学校や関係者の対応、調査の目的をより明確化するとともに、円滑かつ適切な調査の実施及び対象児童生徒や保護者等に寄り添った対応となるように、見直し、充実を図っている。 ・ガイドライン改訂の概要について、【資料1-1】の文科省の資料に沿って説明した。
事務局	(2) 学校いじめ防止基本方針の実行度の調査、効果の検証について ・実行度の調査、効果の検証、効果的な取組や改善策について各学校と共有をしていく。 ・チェックリストは、各学校が自己評価し、市教委が実行度を分析していく。 ・学校訪問によりチェックリストを踏まえた効果検証をする。 ・生徒指導主任研修会で、市内小中学校のいじめ防止基本方針の実行度を高めていく。
委員 委員 事務局 委員	・チェックリストは、具体的に記載したほうが良いので、別紙でまとめておく。 ・「いじめが起きないような環境づくり」という意味合いが含まれるようにした方が良い。 ・意見を参考に具体的な記載の仕方について再度検討する。 ・学校から地域へのお願い事だけでなく、地域から学校へのお願いについてもできるだけ対応してもらいたい。
事務局 委員	・地域からの要望について、コミュニティスクールなどの機会を利用して、周知したい。 ・チェックリストを実行する期間については、学校ごとに進めていくのか、市として進めていくのかを確認したほうが良い。
事務局 委員	・チェックリストについては、年度が替わった際にはしっかりと引き継げるようにする。 ・年に一回は、しっかりと実行したかどうかを事務局が確認するとよい。
事務局	(3) いじめ未然防止プログラムの進捗状況について ・いじめ未然防止プログラムは、子供たち主体的にいじめの未然防止に取り組むことを目的に、試験的に取り組んでいる。 ・アンケートは各校の保護者に配布し、全部で307名から保護者から回答があった。 ・アンケートの回答について、一部抜粋して説明した。【資料3】
委員 事務局 委員 委員	・全回答数は、全家庭のどのくらいの割合か。 ・全体で約20%であった。 ・自由記述は、記述のキーワードの分布を見て分析する方法もある。 ・家庭としての視点、学校としての視点、大人全体としての視点などバランスよく回答してもらえるとよい。

委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後は、アンケート結果をどのように活用していく予定か。</li> <li>・ 今回の趣旨は保護者の実態把握だが、記述の中身や数値の変化を見取り、効果検証に活用したい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者や児童生徒に、いじめについて議論する機会を設け、そのための材料として活用するのもよい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いじめ未然防止プログラムなどについて、学校・地域・家庭で共有して、子供たちが命を落とすことなく犯罪に手を染めないようにしていくことが大切である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いじめを解決する糸口を見つけるために、このプログラムを通して学校と一緒に家庭も取り組んでいけるとよい。</li> </ul>
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いじめ未然防止プログラムは、学校と家庭が一緒になって取り組んでいくとよい。</li> <li>・ これまで学校で取り組んでいるいじめ未然防止の良い実践を吸い上げたりフィードバックしたりするなど、学校の伴走支援をしていきたい。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回の意見を踏まえて進めていただきたい。</li> </ul>
事務局	<p>以下、非公開のため、議長より傍聴人の退出を依頼した</p> <p>【非公開】</p> <p>(4)</p> <p>(5)</p> <p>閉会</p>